

# 固定した3Dセンサ1台で積載貨物を検出し、 コンテナ容積に対する積載率、空き空間を可視化

- 物流業界における慢性的な人手不足、ECの需要増による個口配送の急増に対し、配送の効率化が求められている
- カーボンニュートラルへの対応として、積載率向上（配送効率化）によるCO<sub>2</sub>削減を目指す

- お客様の利用シーンに合わせて、車載型、バース型の2パターンの運用に対応
- お客様の利用環境に合わせ、3DセンサはLidar、ToF、ステレオのカメラから最適なものを選択可能
- デジタコと連動する事で運行単位での詳細な積載率計測が可能

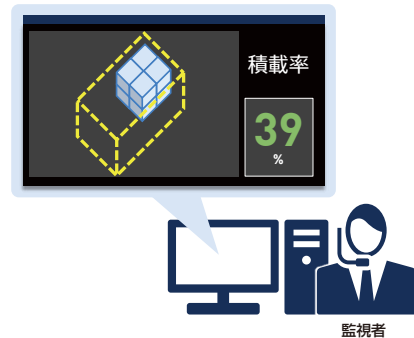
固定した3Dセンサ1台で撮影した映像の特定領域に積載された荷物を検出し、コンテナ容積に対する積載率を可視化することができます

## 対象例

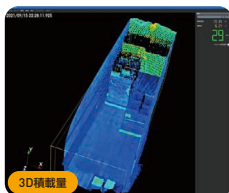


\*1: センサ依存のため、センサ選別時にご相談となります

## 検出例



## 運行中のトラック内3Dセンサ設置例



点群データ処理画面と積載率



検証用ドラレコ撮影画像

日報番号	21000300004546	乗務員	0000291 矢崎 太郎
運行日	2021/09/15 (水)	車両	0000361 XXX浜松130 あXX
天候		車種	大型 DTG7
コース	DC-今里-川崎便	最大積載量	13,800kg